

研究課題名	抗 BP180 型粘膜類天疱瘡の抗体クラススイッチの検討
研究の意義・目的	自己免疫によって全身に水疱が生じる自己免疫性水疱症では通常 1 種類の免疫グロブリンクラスの抗体が産生される事が多いです。 今回、BP180 という蛋白に対する抗体が産生され、粘膜に優位に症状が起こる粘膜類天疱瘡において IgG, IgA という 2 種類の抗体を産生している症例が報告されています。この疾患の患者様の血液を用い、この 2 種類の抗体が同じ起源からできたものなのか、別々の起源からできたものなのかを検討します。
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日～ 2027 年 3 月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	過去にご協力いただいた研究(「各種免疫性皮膚疾患患者の血清と皮膚粘膜サンプルを用いた網羅的な免疫学的研究」承認番号 2019-055)に同意いただいた方、および、2022 年 4 月～2027 年 3 月に大阪公立大学医学部附属病院の皮膚科で、抗 BP180 型粘膜類天疱瘡のため受診された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	過去にご協力いただいた研究(「各種免疫性皮膚疾患患者の血清と皮膚粘膜サンプルを用いた網羅的な免疫学的研究」承認番号 2019-055)でご提供いただいたまたは通常診療で得られた下記項目を本研究に使用させていただきます。 試料：【血液、皮膚粘膜組織、】 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、検査データ】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪公立大学医学部附属病院皮膚科のみで行い、他の機関に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学医学部附属病院皮膚科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 皮膚病態学 研究責任者 橋本 隆
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪公立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 皮膚病態学 (担当者氏名) 林 大輔 電話番号：(06) 6645—3826 メールアドレス：dai_072063@omu.ac.jp